

国連世界観光年宣言



-般財団法人 日本ホテル教育センター





成 27 年 7 月 25 日(15,000 部) 発行

2015.7 Vol.54

〒164-0003東京都中野区東中野3丁目15番14号 TEL.03-3360-8231(代) http://www.jhs.ac.jp http://www.jec-jp.org/ FAX.03-3360-8584

日本で初めて結成

ヤング・スコールクラブ・ジャパン

~ 学生会員 77 名、来賓約 50 名を招き、帝国ホテルで発足式 ~



去る7月4日、本校学生77名を会員として「ヤング・スコールクラブ・ジャパン」を結成し、スコールクラブ・オブ・東京の会員及び観光業界関係者約50名を招き、帝国ホテル富士の間にて発足式を行いました。

最初のスコールクラブは、旅行業界幹部がスカンジナビアへ旅行したことを契機に1934年、フロリモンド・ヴォルカート氏が創設したもの。現在、世界80カ国に400クラブ、17000人の会員を有する民間の国際組織で、本部をスペインのトリモリノスに置く。観光業界に関係する経営者・幹部を主な会員とし、会員相互のグローバルなネットワーキングを推進する、観光業界最大の組織。日本では、東京、名古屋、大阪に3クラブ、約130名が会員となっています。

本校では、現在1021名の学生を有する日本最大のホテル学校として、国際化に向けて様々な取り組みをしてきました。今回、英語で授業を行う英語専攻科の学生77名:1年生31名、2年生46名を中心に、スコールクラブ・オブ・東京の傘下で、ヤング・スコールクラブを結成したもの。この数は、国別で世界第二位、クラブ単体では、スコールクラブ・オブ・東京が世界第一位となります。今年6月上旬マニラで開催されたスコール・アジア大会で、「Asian Area Best Young Skal Club 2015」を受賞しました。

スコールクラブでは、世界的な傾向として年々会員数の減少傾向があるため、業界の経営者・幹部のみならず、18 才~35 才までの、観光業界の次世代を目指す若い世

代向けに「ヤングスコール」という新たなカテゴリーを作り、組織の増強を図っているため、この動きに呼応したもの。また、2014年から2年間、石塚勉校長がスコールクラブ・ジャパン会長に就任していることから、国際教育の推進とクラブ会員増をもねらいとしています。

ヤング・スコールクラブ・ジャパンは、本校の学生を中心に創設されますが、他の観光系の専門学校や大学の学生にも門戸を開放していく方針。同校では、年間数回の会合に業界人を招聘する、また、海外研修旅行中、1年生はマニラで、2年生はローマで、海外のヤング・スコールとの交流も視野に入れています。

世界から注目される日本・・・

— 私たちは何を… —

校長 石塚 勉

最近の報道に目を向けると、訪日外国人旅行者が1700万人以上に、東京、大阪では90%以上のホテル稼働率に、京都市が2年連続して世界一の観光



地に、相次ぐ世界遺産登録でユネスコに登録されている日本の世界遺産は、文化遺産15、自然遺産4、無形文化遺産22、合計41に…等々、観光業界にとっては、明るい話題が飛び交うようになってきました。

世界中の人達が日本に目を向ける傾向にある中で、自分や周囲を見つめなおすと本当に大丈夫だろうかと、多々疑問に思うことがあるのは、私だけだろうか?日本や異文化への知識、そしてコミュニケーション力が不足していることに思い当たる人達も多いのではないだろうか?持ち合わせの条件は、人によって違うので、今一度、それぞれの立場で考え直してみることも必要ではないだろうか?

国内での国際交流が増加する時代を迎えて、ホテル、レストラン、ブライダルなどのホスピタリティ業界で働く人々にとって、多種多様のお客様へ対応する接客接遇の最前線で直面する大きな課題となってきます。通常の業務をこなすことは当たり前、お客様の国民性や趣味趣向を理解し、コミュニケーションができることが求められる時代の到来です。私たちは何をすればいいのか、早い環境変化に対応できるよう日頃から留意していきましょう。



Skal Club of Tokyo Young Skal Club Japan 発足式 於帝国ホテル





















二人の会長からビデオメッセージ スコール本部: サリー・シーン会長 (左) スコールアジア: マルコ・パティストッティ会長











スコール・クラブ・ジャパン会長でもある石塚勉 校長の主催者挨拶に続いて、スコール本部サリー -ン会長、スコールアジア地区マルコ・バティス トッティ会長からのビデオメッセージを披露、日本 政府観光局小堀 守理事、スコールアジア地区ジェ リー・ペレ前会長、スコールクラブ・オブ・東京デ イビット・スペンス会長からのご祝辞を頂戴し、初 代会長に任命された英語専攻科二年生の阿部万紗未 さんには入会承認証とバッジが渡されました。懇親 会を兼ねた昼食会では、スコール伝統の乾杯で祝杯 し、交流を図りました。

























Young Skal Club・特別講演を実施

~ SKAL TOKYO会長を講師に迎え~



SKAL INTERNATIONAL TOKYO, President David Spence 氏が来校され、4月末 Young Skal Club のメンバー となった英語専攻科1年生、 2 年生 77 名を対象に Skal Club とは何か、あるいはど んな活動をするのか、

YoungSkal Club の一員になることで、どの様なメリットがあ るのかなど話していただく特別講演を6月2日、3日の両日 に実施しました。



第44回スコール・クラブ・アジア大会 マニラで開催 ~ アジア地区 ベストヤングスコールクラブ賞を受賞~

第 44 回スコールクラブ アジア大会 (44th Skal Asia Congress 2015 Manila) が 6 月 4日~7日、フィリピン・マ ニラ市のソレアーリゾート &カジノで開催され、オース トラリア、バーレン、香港、ア メリカ、インド、インドネシア、 イスラエル、日本、韓国、マ レーシア、モーリシャス、ミャ





表彰式で Skal International Councilor & Skal International Asia Immediate Past President O Gerry Perez 氏からトロフィーを受け取る石塚勉校長

ンマー、シンガポール、スリランカ、台湾、タイの16か国から51名、フィリピン のマニラクラブ、およびマカティクラブ会員59名、合計110名が参加しました。

今大会では、総会、役員選挙、講演会、各国スコールクラブ会長情報交換会、 市内見学会、ガラディナなどが行われ、会員相互の交流が促進されました。

最後に各功労者に対しての表彰が行われ、スコールクラブ・オブ・東京 の傘下で、本校の学生77名が初回会員となって発足したヤング・スコール クラブ・ジャパン(略称=YSCJ)が、アジア地区 ベスト ヤングスコールク ラブ賞を受賞しました。

今回の受賞は、本校の石塚勉校長がスコール・クラブ・ジャパン会長も 兼務していることもあり、スコール・クラブ・アジア大会 2015 マニラへ出 席の折、スコール・クラブ・オブ東京を代表して受賞したものです。

専門学校日本ホテルスクール入学式典





2015年度 1年生担任					
Α	中島	宣由紀	L	江口	幸
В	神保	江津子	G	村瀬	孝
С	中山	万作	Н	井上	正子
D	小島	和子	I	下田	憲司
Е	島田	雅輝	J	井上	浩
F	武内	悟	K	川上	忠道





2015年度 入学式典を挙行

~ 478名が入学~

2015年度の入学式を4月3日、なかの ZERO ホールで挙行しました。

式典は、石塚勉校長の式辞から始まり、観光関係団体、企業、教育関係者計 23 名のご来賓を代表し、一般社団法人日本ホテル協会 専務理事 宮武茂典様より祝辞を頂きました

続いて、在校生を代表し新 2 年生の夜間部ブライダル科 小山千晴さん、留学生を代表し昼間部英語専攻科 林彩民さんが歓迎のことばを、最後に新入生を代表し、昼間部ブライダル科 山口栞さんが力強い決意を表す入学のことばを述べ、式典は終了しました。







2014年度生海外ホテル研修生制度 認定式を実施

~ スイスホテル研修生1名、シャングリ・ラホテル研修生4名が出席~

海外ホテル研修生制度 認定式を3月4日に実施しました。認定式には、スイスホテル研修生1名、シャングリ・ラホテル研修生3名の計4名が出席。海外ホテル研修生として認定されました。

認定式では、石塚校長より海外で働く厳しさや 日本人研修生が注意しなければならないこと、海 外で働く貴重な1年間を充実した期間になるよう にアドバイスしていただきました。

研修生は、これから始まる新たな経験と研修生 として担う責務をもう一度確認し、気持ちを引き 締めたようでした。



左から、森脇 なるみさん(シャングリ・ラ ホテル)、山澤 志穂さん(スイスホテル)、川口美希さん(シャングリ・ラ ホテル)、保坂 友佳子さん(シャングリ・ラ ホテル)

(4名の研修生は卒業後それぞれのホテルへ赴任し、活躍しています。)

2015年度留学生 ホストファミリーとの生活がスタート ~ オーストラリア・メルボルン 30名、カナダ・バンクーバー44名 ~

2015 年度カナダ・オーストラリア留学制度を利用する学生 74 名のうち、30 名が 4 月 10 日にオーストラリア・メルボルンに向けて、翌日 11 日に44 名の学生達がカナダ・バンクーバーに向けて出発しました。

現地に到着後、オーストラリア、カナダともにオリエンテーションが実施され、その後本格的に始まる ELICOS (English Language Intensive Courses for Overseas Students) コースや ESL (English as a Second Language) クラスに向けて準備をします。





1年生対象 加豪留学説明会を実施

本校在学中、1年次と2年次の間に約10カ月間、カナダ・バンクーバー、もしくはオーストラリア・メルボルンに留学する海外留学制度の説明会を5月23日に実施しました。

説明会には加豪留学制度に関心のある1年生約90名が参加。カナダ留学先のグラスカレッジよりホスピタリティマネジメントマネージャーMark Elliott 氏、インターナショナルオフィサー Hiroshi Yasuoka 氏が来校、オーストラリア留学先のホームズグレンからは、留学プログラムディレクター吉浦亮子氏、コーディネーター Ai Lin 氏の4名が来校し、両校留学プログラムについてのプレゼンテーションを行いました。

外国人留学生14名の学生生活がスタート

~中国6名、台湾1名、韓国5名、ネパール1名、ベトナム1名~

2015 年度の外国人留学生を対象としたオリエンテーションを4月10日に実施しました。

日本語学校とは違い日本人と同じクラスで学ぶという

不安から初めは していました。 を表示、2年生メント をあります。 を がなって を がなって で きました。



オリエンテー

ション終了後は全員で記念写真を撮り学生生活のスタートを切りました。

本校では担任の先生と留学生を支援するスタッフとで 留学生の皆さんをしっかりとサポートする体制が整って います。





~ JHS同窓会便り~

2015年度 JHS同窓会幹部会議を開催

~ 今後の同窓会活動の方向性を確認 ~

本校の 2015 年度同窓会幹部会議を 6月17日に開催、同窓会長、副会長、事務局長、監事を含む 10名が出席しました。

同窓会幹部会議において、黒須事務局長より「2014 年度事業報告 および収支決算」の報告、「2015 年度事業計画案、収支予算案」の説 明、中島同窓会長より「理事会の開催」「学校 45 年史(仮称)の編纂」 の進捗状況報告、「45 周年同窓会」について提案・報告がありました。

短い時間でしたが、参加した役員からは今後の同窓会発展のための活発なご意見を頂きました。

今後も同窓会組織および活動の充実・発展のために役員、事務局 一同努力して参る所存です。引き続き卒業生の皆さまの同窓会に対す るご支援をお願いいたします。



本校は 1971 年、プリンスホテルスクールとして創立、2016 年には設立 45 周年を迎えます。

2016年11月11日にグランドプリンスホテル新高輪の宴会場「飛天」にて創立45周年記念同窓会を開催する予定です。 同窓会役員一同、記念行事にむけて準備を進めています。

■同窓会に関するお問合せ

担当:黒須・下田・川辺 TEL:03-3360-8231

台湾・高雄市で活躍する卒業生を訪問 ~人人外語促進協會 理事長 杜佾使さん~



本校の片岡先生、高野先 生が、台湾で活躍している卒 業生 杜佾健さん (2003 年 度卒業)、を訪ねました。

杜佾倢さんは本校卒業後、 台湾に帰国し台湾国立高雄 第一科技大学大学院に進

学、昨年 11 月高雄市に語学学校「社会法人 高雄市人人外語促進 協會」を設立、理事長を務めています。

杜佾倢さんは「一人でも多くの人に日本語や日本の文化を知って欲 しい、その機会として協會が貢献できれば思います」と語ってくれまし た。

また、将来は日本語クラスだけでなく、英語やスペイン語等様々な 国の言葉を学べるようその準備に忙しい毎日を送っているそうです。

訪問時には日本語特別講師として日本語クラスの授業に参加し、約20名の生徒のみなさんと懇親を深める機会となりました。





第19回JHSソムリエクラブ開催

~ アンダーズ 東京にて ~



第 19 回 JHS ソムリエクラブの 会合を 3 月 10 日、アンダーズ 東 京「アンダーズ タヴァン」で開 催し、総勢 28 名が参加しました。

今回の集いは、新規開業ホテルの話題性と卒業生が活躍する レストランをテーマとして行い、

全体コーディネートを本校卒業生の料飲副部長・浅田資継氏 (1997年卒業) にお願いしました。

今回のメンバーの中には、昨年 10 月に実施された第7回全日本最優秀ソムリエコンクールで5位に入賞、第4回ソムリエ・スカラシップ優秀賞を受賞した森本美雪さん(2007年卒業)、そして第2回ソムリエ・スカラシップ優秀賞を受賞した長谷川大地さん(2007年卒業)も参加しました。次世代を担う若手ソムリエとして今後の活躍が益々楽しみです。









JHS ソムリエクラブは、ソムリエおよび料飲に携わる卒業生の勉強の場として年 2 回の会合を行なっています。 更に発展的な会合になるよう努力いたしますので、今後ともよろしくお願いたします。

■ソムリエクラブに関するお問い合わせ

担当:川上 TEL:03-3360-8231 kawakami@jhs.ac.jp

ホスピタリティで業界で活躍する卒業生

ホテルオークラ東京 合田昌宏さん

1962 年の開業以来、日本のホテルをリードする御三家ホテルのひとつホテルオークラ東京でフロント課副課長として活躍している卒業生の合田昌広さん1996年卒業)が来校しました。

在籍時の担任・水澤先生と

合田さんは本校卒業後、

約20年間ホテルオークラ東京に勤務しており、今年7月よりオランダのホテルオークラアムステルダムにてシニアマネジメント研修を3カ月間行う予定との事でした。

ホテルを企業経営の側面から数字や経営指標などの理解を深めたいと思っています。これまで経営企画室などでの業務も経験し、企業の経営状況を理解するために、いろいろな数字や指標を扱ってきました。今までの経験をもとに、ホテルオークラグループの研修プログラムを通して、大きく成長したいと思います」と力強く語ってくれました。







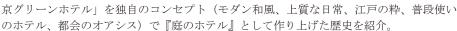
日本旅館国際女将会 3 月定例会・勉強会を庭のホテルで開催

~ 庭のホテル 代表取締役社長 木下彩氏が講演 ~

日本旅館国際女将会 3 月定例会・勉強会が 3 月 18 日、庭のホテル(千代田区)で開催され会員及 び関係者24名が参加しました。

定例会後の勉強会では、同ホテル 代表取締役社長 木下 彩 氏が「新たなホテル業態の模索~小さなホ テルだからできる事~」と題して講演を行いました。

木下氏は父親から引き継いだビジネスホテル「東



和と洋の融合したホテルは、インターネットの普及、口コミで現在の宿泊客の 70%以上 が外国人客との事。大資本のホテルに太刀打ちするためにも「個性」を打ちだし、東京オ リンピック後も世界中の方々から愛され続けるホテルでありたいと、意気込みを語りました。

女性経営者である女将達は、「女性的な感性で旅館にも共通する事も多く、とても参考 になった。」と感想を述べていました。

賞金総額100万円 「第5回学生観光論文コンテスト」

~ 10月1日より募集開始~

「学生観光論文コンテスト」は大学・短大・専門学校生(学部・専攻、 個人・グループを問わず応募可)を対象に、将来の観光産業のリーダー となる若者の育成を通じて、日本政府ならびに観光庁の観光政策を サポートすることにより日本を明るく元気にする一助とするべく、2010 年から一般財団法人日本ホテル教育センターが主催し実施していま す。

2015 年度の論文は 10 月 1 日より募集を開始します。日本の成長戦 略の柱の一つである「観光立国」実現に向けた、積極的で斬新な提 案を期待しています。

■論文テーマ

下記三つのテーマの中から一つを選択

- A) 観光立国で日本を元気にする方策について、私の提案
- B) 観光資源保護におけるナショナル・トラスト活動の役割につ いて、私の提案
- C) 我が国の MICE(マイス) 競争力強化に向けて、私の提案

■墓集期間

2015年10月1日(木)~11月30日(月)必着



お問合せ:一般財団法人日本ホテル教育センター

事業本部 教育事業室 藤原 弘-

TEL: 03-3367-5663 E-mail: support@jec-jp.org



ホテル塾・マイス塾入塾式を挙行

- 第15期ホテル産業経営塾・第5期MICE塾 ~



5月15日、ホテル塾より田中勝塾長・藤崎斉副塾長・春口和彦特 別顧問、マイス塾より川島久男塾長・浅井久乃特別顧問が出席。来 賓として、浅香雅司様 (MICE Services EVEN 代表) をお招きし、 第 15 期ホテル産業経営塾・第 5 期 MICE 塾の合同入塾式及びオリ エンテーションを執り行いました。塾生は来年の3月までに、8月を 除く隔週金曜日午後、全16回の講義を受講されます。

また、3月20日に、 「第 14 期ホテル産業 経営塾(ホテル塾)」 と「第4期 MICE 塾 (マイス塾)」の合同 卒塾式が執り行わ れ、ホテル塾 13 名、 マイス塾 13 名、合計 26 名が卒塾しました。



高校1年生に「新入生ホスピタリティ研修」を実施 ~ 入学オリエンテー ションの一環として ~

4月14日、山梨県富士河口湖町において、昭和鉄道高等学校に入 学した 1 年生 230 人を対象に、入学オリエンテーションの一環として 「新入生ホスピタリティ研修」を本財団が受託し実施しました。

当日は、将来、観光関連産業(ホテル、鉄道、旅行、航空関係等) への就業を意識して、担当講師の指導の下、サービス業の基本理解、 心構え、対人関係、言葉遣い等の授業をロールプレイ方式で行い、 実践に取組みました。

生徒たちは緊張の中にも、将来の職業イメージに夢をふくらませ、研 修に臨んでいました。

編集責任者:石塚 勉 編集担当:黒沢由美子 連 絡 先: 03-3360-8231

kurosawa@jhs.ac.jp